

身近なところで生活を支える東京エレクトロン

東京エレクトロン(TEL)の技術は、お客さまの製品を通して、高性能化、省エネルギー化、環境問題の解決に貢献しています。お客さまである半導体・FPDメーカーがつくった製品は、世界中のあらゆるエレクトロニクス製品に組みこまれています。



FPD

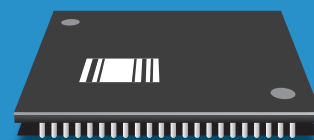
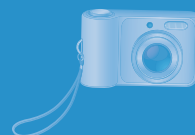
美しく鮮やかな映像を映し出すパソコンや液晶テレビのディスプレイ。その生産を担うFPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置を、液晶パネルメーカーに確かな技術サポートとともに提供しています。お客さまの高品質と低コストの追求に、東京エレクトロンは優れた製品と技術で応えます。



Impressio™

FPD プラズマエッチング/アッシング装置

基板上に形成されたパターンに従って、膜を削り取る装置です。



半導体



CLEAN TRACK™ LITHIUS Pro™ V-i

コータ/デベロッパ

ウェーハ上にレジストを塗布し、露光後に現像する装置です。



CELLESTA™-i

枚葉洗浄装置

ウェーハを薬液などで洗浄する装置です。



Tactras™ Vigus™

プラズマエッチング装置

ウェーハ上に形成されたパターンに従って、膜を削り取る装置です。

CONTENTS

目次	p. 2
東京エレクトロン 基本理念／編集方針	p. 3
トップコミットメント	p. 4

▶ Highlight

お客さまの近くでの研究開発体制の強化と 新たな事業分野への進出	p. 6
中国江蘇省昆山工場の稼働	p. 8
東京エレクトロンの新環境ビジョン	p. 10

▶ Management Report

コーポレート・ガバナンス	p. 12
コンプライアンス	p. 13

▶ EHS Report

EHS マネジメント	p. 14
製品における環境への取り組み	p. 16
事業所における環境への取り組み	p. 20
健康・安全への取り組み	p. 24

▶ Social Report

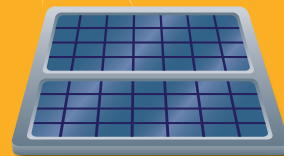
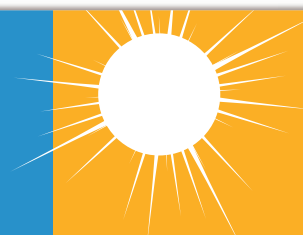
お客さま・取引先さまとのかかわり	p. 26
株主・投資家の皆さまとのかかわり	p. 27
社員とのかかわり	p. 28
社会とのコミュニケーション(企業市民活動)	p. 30
第三者所見／第三者所見を受けて	p. 34
会社概要／TEL バリュー	p. 35

東京エレクトロン 基本理念

- ▶ 人々の健全で質の高い生活を実現する為に先端分野に於けるトップサプライヤーとして価値の高い技術・サービスを世界に提供
- ▶ 夢のある社会の構築、環境問題の対応に一層のリーダーシップを発揮
- ▶ 使命感を社員全員と共有し、いきいきと輝き夢と活力のある会社



パソコン、携帯電話など、デジタル製品の基幹部品である半導体。その生産に不可欠な半導体製造装置を幅広く取り揃え、世界の半導体メーカーに、優れた技術サポートとともに提供しています。高い生産性を備え、多様な顧客ニーズに応える東京エレクトロンの製品と技術は、ますます高度になる半導体製造になくてはならないものとなっています。



太陽光パネル

再生可能エネルギーの代表と言えるのが、太陽エネルギーを利用した太陽光発電です。東京エレクトロンは、技術で環境問題に取り組む、という信念のもと、太陽光パネル製造装置事業を新たなビジネスの柱にするべく強化しています。



TELINDY PLUS™
熱処理成膜装置

ウェーハ上に酸化膜や窒化膜を形成する装置です。



Trias™₂₊
枚葉CVD装置

ウェーハ上に化学的にさまざまな種類の膜を形成する装置です。



Precio™
ウェーハプローバ

ウェーハ上に正しく回路が形成されたことをテストする装置です。

太陽光パネル製造装置

当社グループが主に参入する薄膜シリコン型太陽光パネルは、ガラス基板上に薄膜のシリコン層を形成するタイプの太陽光パネルです。

編集方針

本報告書では、東京エレクトロングループの社会的責任に対する取り組みを、主に地球環境や社会の観点から報告しています。従来は国内における取り組みを中心に報告していましたが、事業活動のグローバル展開に伴い、今回は海外における取り組みの報告を充実させています。

特集ページは、当社グループの事業と社会的責任との関連性をより深く理解していただくことを目的として構成しています。さらに、従来の東京エレクトロンの環境コミットメントに基づく環境目標を前倒して達成する見込みであることを受け、新環境ビジョンのもとで新たな目標を設定したことを報告しています。

本報告書を通して、当社グループとかわかるすべての方々とのコミュニケーションがさらに充実することにより、より良い今後の活動を目指していきます。皆さまからの忌憚のないご意見、ご感想を差し込みのアンケート用紙にてお寄せいただければ幸いです。

なお、2011年度の環境会計の結果は当社Webサイトに掲載されます。

 <http://www.tel.co.jp/environment/ehsreport.htm>

対象範囲

東京エレクトロングループ
(東京エレクトロンおよび国内・海外の子会社・関連会社)

対象期間

2011年度(2011年4月1日~2012年3月31日)を基本としていますが、一部2012年度の取り組みも含まれます。

発行時期

報告書発行：2012年9月
次回発行予定：2013年9月
前回発行：2011年9月

参考にしたガイドライン

環境省：環境報告ガイドライン(2012年版)
GRI (Global Reporting Initiative)：
サステナビリティ・レポートガイドライン第3.1版